

華

日時 令和六年十二月十五日(日) 受付 十二時〇〇分

開会 十二時三〇分

場所 ホテル阪急インターナショナル

大阪北区茶屋町一九―一九

電話 〇六一六三七七一二一〇〇

公益社団法人関西吟詩文化協会 公認華洲会

創立六十周年記念大会



主催 公益社団法人関西吟詩文化協会公認華洲会

後援 公益社団法人関西吟詩文化協会総本部

後援 公益社団法人関西吟詩文化協会大阪地区連合会

卷 頭 言

藤澤 黄坡

之これを知るしものは之これを好むこのものにしかず

之これを好むこのものは之これを樂たのしむものにしかずとは

孔聖こうせいの道みちを語かたりし所ところなり。

吟詩ぎんしも亦また然しかり。

ただ其その詩しを知しり、その詩しを吟ぎんずるのみなるは未いまだし。

之これを好むこのにいたりてよし。

ただ之これを好むこのも未いまだ可かならず、

其その意いを悟さとりその義ぎを樂たのしむにいたりて完まったきなり。

樂たのしめば則すなわち生しやうず。詩中しちゆうの景けい、詩中しちゆうの情じゆう、

油然ゆうぜんとしてその心こころに生しやうじ来きたりて、

己おのれ遂ついに詩中しちゆうの人ひととなる、これこれを同化どうかという。

吟詩ぎんしの妙味みょうみこここゝにあり、修養しゆうようの道みちも亦またこここゝにあり。

われ諸君しよくんとこここゝに従事じゆうじせん。

關西吟詩文化協會會歌 藤澤黃坡

民性温良又克忠。
和魂寓在詠詩中。
吟時能使其情發。
唱去轉教斯志雄。
莫作消沈嘆陋巷。
只須清越嘯長風。
琅琅音吐堂堂氣。
偏覺精神壓大空。

關西吟詩文化協會會歌 藤澤黃坡

民性 温良にして 又克く忠なり

和魂 寓して詠詩の 中に在り

吟ずる時は能く 其の情をして發せしめ

唱え去つて 轉斯の志をして雄ならしむ

作す莫れ消沈して 陋巷に嘆ずるを

只須らく 清越 長風に嘯くべし

琅々たる 音吐 堂々の氣

偏に覺ゆ 精神の大空を壓するを



華洲會會歌

三浦華洲作

吟風發起浪華郷

吟風ぎんぷう發起ほつき浪華ろうかの郷きょう

躍進隆隆奎運長

躍進やくしん隆隆りゅうりゅうとしてけい奎運いん長ながし

同志相和傳正脈

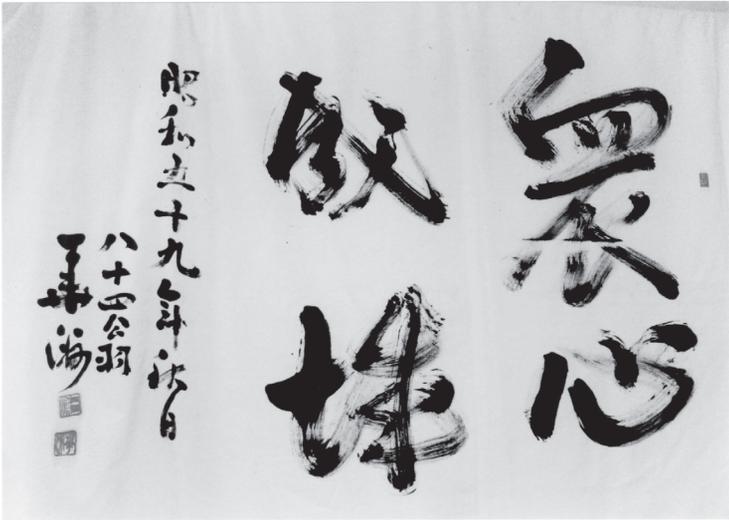
同志どうし相和あいわし正脈せいみやくを伝つたえ

挺身斯道氣軒昂

斯道しどうに挺身ていしんして氣軒きけん昂こう

華洲會創始會主

故三浦華洲先生



ご挨拶

公益社団法人関西吟詩文化協会公認

華洲会会長 山口華雋



錦秋の好季節、この度、公益社団法人関西吟詩文化協会公認華洲会創立六十周年記念大会を開催いたしました所、ご来賓の先生方に於かれましては、ご多忙の所、まげてご臨席を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、華洲会は、故三浦華洲先生が昭和三十五年コクヨ支部から始まり豊中・四條畷・野崎・東和バルブ・樟葉支部を立ち上げられ、そこから門下生が、初代会長宮崎華騮・二代目佐々木華豊・三代目濱田華克・四代目私山口華雋と共に寺川・野崎観音・津野辺・鼓が滝・清和台・勢多・和歌山支部へと拡大し、さらに孫弟子が多くの支部を立ち上げ、最大時会員数は、千人近くに達しました。しかし、現在は、吟界の流れと同様に高齢化が進み、会員数が減少してまいりましたが、未だゴールド公認会を維持出来ているのは、会員皆さんの努力の賜物と感謝する次第です。

吟界は正に高齢化が進み若者からは、「詩吟は年寄りの趣味・古臭い・漢詩は何を言っているのか判らない。」等の話を聞きます。しかし若者に詩吟を聞かせ、剣詩舞を見せると、面白そうと言ってくれる若者が結構いるのです。先ず剣詩舞に誘い、それから詩吟に勧誘することで少し若者が増えてまいりました。又、ジョンガラ三味線やロックのリズムで詩吟が楽しめることが判つて参りました。そこで、この度の記念大会は、青年部員達に将来の夢を託し、明日からの私達の進むべき一つの道を探す大会と致したく企画いたしました。

小生が公益財団法人評議員・大阪府吟剣詩舞道総同盟理事長他外郭団体の要職に居れるのも、華洲会の皆さんに支えられたことであり、ご来賓の先生方のご支援・ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

私たち華洲会は、この六十周年の記念大会を機に、心新たに、全員一丸となって故三浦華洲先生を始め先人の志に報いべく精一杯務める覚悟でございます。ご来賓の先生方には、今後も華洲会に益々のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日の記念大会の開催に当たり、長きに渡り準備を頂いた役員の方々と物心に渡りご協力頂いた会員の皆さんに心より厚く御礼申し上げます。

最後に、本日出席を賜りました皆様方のご健康・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

大会次第

式典

司会 大会副委員長

藤原 充晟

河田 叡彦

一、開会宣言

司会

一、開会の辞

大会委員長

奥山 紅雋

一、物故者に対して黙禱

大会副委員長

政安 恵豊

一、国歌斉唱

大会副委員長

吉田 鳳襄

一、巻頭言唱和

大会副委員長

中村 尚儒

一、関西吟詩文化協会会歌合吟

大会副委員長

竹本 瑞鼓

一、華洲会歌合吟

大会実行委員長

中村 尚瑛

一、祝辞

(公社)関西吟詩文化協会総本部長

古田 哲壮 先生

大阪府詩吟連盟理事長

中尾 仁泉 先生

大阪府吟剣詩舞道総連盟副理事長

(公社)関西吟詩文化協会大阪地区連合会理事長

山内 邦照 先生

一、祝電披露

大会相談役

岡島 彩鼓

一、記念品贈呈

大会相談役

田中 尚叡

一、表彰授与

一、謝 辞

大会 会長 山口 華雋

一、祝 舞

祝賀の詞

河野 天籟

棉生流吟剣詩舞道 家元

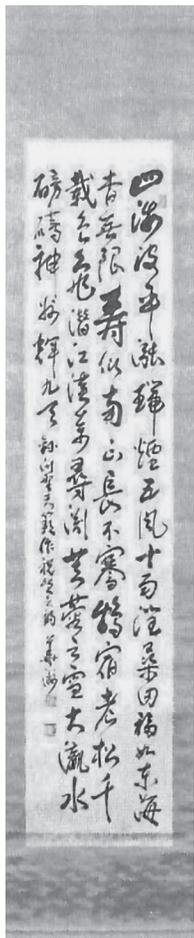
棉生 珠童 先生

棉生流吟剣詩舞道 宗範

棉生 結実 先生

吟 今井 彩黎

吟 嶋崎 瑛簫



(故会主 三浦華洲 先生書)

末廣の演

ナレーター・司会 杉本 紅響

中村 尚瑛

一、会員吟詠(女性)

偶 成 三浦 華洲

吟 岡島彩鼓 田中尚叡 政安恵豊

奥山紅雋 中村尚瑛 高橋箏瑛

森 蘭豊 吉田泉豊 園部奎雋

今井彩黎 向井萌雋 嶋崎瑛簫

福田彩穂 末延照扇 安達朱雋

女性会員一同



われ 吾は恒に健を貴び 吟身を養う
つね 誰れか欲せん生来 寿考の人
ほつ 誰れか欲せん生来 寿考の人
べい 米歳天興 又喜びと為す
さい 閑かに余命を娛し み醇真に徹す
てん 閑かに余命を娛し み醇真に徹す
また 閑かに余命を娛し み醇真に徹す
よめい 閑かに余命を娛し み醇真に徹す
たの 閑かに余命を娛し み醇真に徹す
じゆん 閑かに余命を娛し み醇真に徹す
しん 閑かに余命を娛し み醇真に徹す
てつ 閑かに余命を娛し み醇真に徹す

男子青年部合吟

二、爾靈山 乃木 希典

ドラム 岡本憲明

ギター 中西政敬

三味線 畑 庫治

(吟) 上野釣恵 秋月奎翁 加納奎穰

平野晟鵬 瓦林紅翔 末延光成

奥山英夫 奥山友雅 入口寛都

中西政敬 岡本憲明 嶋崎雄仁

河内路上(編曲) 菊池 溪琴

中西政敬 岡本憲明

三、宝 船 藤野 君山 吟 堀 彩剱

平野 彩杏

四、富士山 石川 丈山 吟 高橋 箏瑛

舞 嶋崎 千夏

嶋崎 雄仁

五、坂下の歌 項 籍 吟 入口 翠雋

劍舞 入口 寛都

六、中 庸 元田 永孚 吟 奥山 英夫

劍舞 奥山 友雅

七、弘道館賞梅花 徳川 齊昭 吟 上野 釣恵

詩舞 高谷 兼子

八、感事

于 瀆

吟 宮部 茉由
詩舞 西村 恵子

九、遊嵐山

頼 山陽

吟 岡部 祐希
詩舞 向井 博子

十、過壇ノ浦

村上 仏山

吟 奥山 紅雅
詩舞 川田 麻衣子

十一、絶句

杜 甫

吟 川田 紅月
詩舞 奥山 久美子

十二、越中懐古

李 白

吟 奥山 紅雋
詩舞 橋口 稔子

十三、会員吟詠(男性)

富 嶽 乃木 希典

(吟)

中谷 将鳳 小寺 竜鵬 中村 尚儒

竹本 瑞鼓 吉田 鳳裏 藤原 兗晟

坂本 兗綜 山下 心鼓 辻 總叡

若林 燁翔

男子 会員

峻嶒たる富嶽千秋に聳え

赫灼たる朝暉八洲を照らす

説くを休めよ區區たる風物の美

地靈人傑是神州

十四、会長吟詠

山口 華雋

道 程

高村光太郎

僕の前に道はない

僕の後ろに道はできる

ああ自然よ 父よ

僕を一人立にさせた 廣大な父よ

僕から目を離さないで

守ることをせよ

常に父の気魄を僕に充たせよ

この遠い道程の為

この遠い道程の為

【初冬山寺】

寒山古刹爛霜楓

梵唄寥寥錦繡中

一境清閑塵氣絕

香煙漂処晚鐘通

初冬山寺
 古刹爛霜楓
 梵唄寥寥錦繡中
 一境清閑塵氣絕
 香煙漂処晚鐘通

初冬山寺の詩

華雋



一、ご来賓吟詠(其の一)

日 出 伊藤 博文

日は出ず扶桑東海の隈
長風忽ち嶽雲を拂うて來る
凌霄一萬三千尺
八朶の芙蓉當面に開く

(公社)関西吟詩文化協会和歌山地区連合会

華博会副会長

花野 博麗先生

(公社)関西吟詩文化協会京都地区連合会

都心会会長

佐古 都声先生

(公社)関西吟詩文化協会大阪地区連合会

撮友会

森 佳仁先生

鷺声吟詠会

藤原 凜声先生

撮友会相談役

森 婕孝先生

秀鳳吟詩会会長

吉井 瑞扇先生

快川吟詠会副会長

辰巳 快水先生

哲柳会副会長

山岡 柳香先生

成秋会会長

小平 秋紅先生

(公社)関西吟詩文化協会総本部

理事 朋映吟詠会会長

川村 朋映先生

副会長 淞苑会会長

中谷 淞苑先生

棉生流吟剣詩舞道 宗範

棉生 結実先生

棉生流吟剣詩舞道 家元

棉生 珠童先生

一、ご来賓吟詠(其の二)

松竹梅 松口 月城

寿福愈開く松竹梅
君が家今日は蓬萊
亀は遊び鶴は舞い人還酔う
無限の歓懷玉杯に在り

(公社)関西吟詩文化協会大阪地区連合会

旭彩会会長

有田 彩堯先生

鷺声吟詠会副会長

佐川 駿声先生

志舟会会長

徳稻 穂晃先生

信会会長

菊澤 信芳先生

柳雪会会長

藪下 清雪先生

翠川会副会長

永田 嶺啓先生

春洲会相談役

植田 春嵐先生

青誠会会長

加納 誠旺先生

快川吟詠会会長

小林 快川先生

鷺郷会会長

大橋 鷺迅先生

一、ご来賓吟詠(其の三)

名槍日本号 松口 月城

美酒元来我が好む所

斗杯傾け尽くして人驚倒

古謡一曲芸上城の中

呑み取る名槍日本号

滋賀地区連合会会長 恵声会会長

中村 雄声先生

和歌山地区連合会 華博会会長

中村 博鵬先生

京都地区連合会 湖洲会副会長

水車 湖博先生

(公社)関西吟詩文化協会総本部

総本部理事 攝友会会長

古賀 成孝先生

総本部理事 錦堂会会長

大石 高堂先生

総本部理事 鷺声吟詠会会長

森 璽声先生

総本部監事 翠川会会長

山内 邦照先生

総本部副会長 鷺照吟詠会会長

大取 鷺照先生

総本部会長 哲壮会会長

古田 哲壮先生

京都府詩吟連盟副理事長

(一社)哲泉流日本吟詠協会副会長

竹内 淳泉先生

滋賀県吟剣詩舞道総連盟理事長

岳心流びわこ岳心会会長

吉田 観心先生

大府詩吟連盟理事長

(一社)哲泉流日本吟詠協会会長

中尾 仁泉先生

一、閉 会 の 辞 大会副委員長 小寺 竜鵬

一、万歳三唱

祝賀の宴

司会

今井彩黎 上野釣恵 嶋崎瑛簫
秋月奎翁 奥山紅雅

一、開宴のことば
大会会長 山口華雋

一、乾杯

一、祝宴
劍舞 林 蔣華先生

一、閉宴のことば
大会実行副委員長 坂本 兗綜

一、万歳三唱

被表彰者

総本部表彰

山口華雋 中谷将鳳 岡島彩鼓 田中尚叡

坂本兗綜 小寺竜鵬 政安恵豊 奥山紅雋

中村尚儒 竹本瑞鼓 吉田鳳襄 藤原兗晟

中村尚瑛

華洲会会長表彰

高橋箏瑛 森 蘭豊 吉田泉豊 山下心鼓

園部奎雋 今井彩黎 末延照扇 辻 總叡

向井萌雋 小川綏宗 安達朱雋 高谷紅兼

寺田将暁 上野釣恵 嶋崎瑛簫 秋月奎翁

若林燁翔 福田彩穂

華洲会創立六十周年記念大会役員

美 容 師	接 待	記 念 品	記録・映像・音響	進行・舞台	司 会 (ナレーション)	案 内	(会員)	受付(ご来賓)	会 計	大会 総務	大会 副実行委員長	大会 実行委員長	大会 副委員長	大会 委員長	大会 相談役	大会 会長																		
嶋田	山口	安藤	井川	伊々田	吉田	大上	坂本	中根	竹本	杉本	藤原	平野	岡島	箱田	加川	今井	政安	荒川	園部	小川	岡森	若林	嶋崎	山下	高橋	坂本	中村	竹本	小寺	奥山	中谷	山口		
紅彩	晟穂	瑞紅	瑞豊	泉豊	紅浄	兗綜	瑞光	瑞鼓	紅響	兗晟	彩杏	彩鼓	瑛優	秀雋	彩黎	恵豊	奎麒	奎雋	綏宗	鵬雋	燁翔	瑛簫	心鼓	箏瑛	兗綜	尚瑛	瑞鼓	竜鵬	紅雋	将鳳	華雋			
相田	福満	長尾	永井	高橋	加川	山下	今井	吉見	中村	秋月	安達	杉本	上坂	市木	寺田	向井	竹内	福田	上野	今井	森	吉田	政安	吉田	岡島									
照美	天恵	叡睦	尚麗	箏瑛	心鼓	豊治	昊翔	尚瑛	奎翁	朱雋	紅響	鳳楊	紅鐘	将暉	萌雋	峰鼓	彩穂	釣恵	彩黎	蘭豊	鳳襄	恵豊	鳳襄	蘭豊										
福田	小尾	守田	森	上野	奥山	箱田	河田	堀	高谷	高野	福田	吉田	岡部	岡部	嶋田	末延	秋月	辻	吉田	藤原	中村													
房子	晟楓	晴春	蘭豊	釣恵	英夫	儒海	叡彦	彩剱	紅兼	鳳照	彩穂	泉豊	瑛泥	瑛泥	紅彩	照扇	奎翁	總叡	泉豊															

會員協賛者氏名

雋詠寺川支部

山口 華雋	大西 輝雋	園部 奎雋	向井 萌雋
入口 翠雋	石崎 照雋	井手 藩穂	荒川 奎麒
加納 奎穰	上條 奎嶽	小松 和代	柘植 綾子
宮谷 庚子	日和 俣子		

雋詠京都支部

奥山 紅雋	高谷 紅兼	市木 紅鐘	中野 紅瑤
中村 聖雋	嶋田 紅彩	奥山 紅雅	加川 秀雋
中村 紅香	五十棲 鷄雋	森本 鈴兼	竹村 楓兼
杉本 紅響	秋月 奎翁	瓦林 紅翔	奥山 英夫
石原 純子	入口 寛都	奥山 友雅	小林とみよ
中西 政敬	中川 新一	岡本 憲明	

雋詠伊賀支部

岡森 鵬雋	小川 綏宗	安達 朱雋	鈴木 魄俊
桜井 啓義	袖木 隆壽		

燐吟支部

若林 燐翔	山脇 燐禎	大上 紅浄	谷 正子
加川伊久雄			

京阪樟葉支部

藤原 兗晟	辻 兗泉	才賀 兗白	木村 燐菱
平野 晟鵬	中西 晟光	小尾 晟楓	山口 晟岳
山口 晟穂	西崎 牧子	川浪 良子	塩本 雅史

齋藤 文子 中平久美子 花房ちえの 大崎 良男
川根 和子

勢多支部

中谷 将鳳 寺田 将曄 宇野 曄麗 白井 文子
山元 春美 長谷川春野 石津 禎明 石津 琴美
宇野紬衣菜 西塚 梨花

楠の里支部

小寺 竜鵬 高上馬竜曄 坂本 竜咲 山口 竜粹
田中 弘章 川井久美子 実兼千鶴子 中原 利子
小寺かづみ 西山 公平

野崎観音支部

高橋 箏瑛 嶋崎 瑛簫 吉村 耕治 高橋 箏楓
柏原 瑛蓉 日高みさ子 嶋崎 千夏 嶋崎 雄仁
嶋崎 友洋 嶋崎いさみ

鳳吟大江支部

吉田 鳳襄 澤田 鳳蘭 岸場 鳳鶯 石元 鳳玉
上坂 鳳楊 磯田 鳳仁 高野 鳳照 中谷美津江
中山 幸子 澤田恒太郎 吉田 順一 吉田ひろ子
吉田 幸子 石元 辰弥 吉田ひなた 石元 美憂

清和台支部

森 蘭豊 小澤 蘭陽 古森 政美 河野 琳
河野 萌杏 岡田 幸子

多田東支部

田中	尚叡	青木	秀叡	辻	總叡	金子	尚恭
富田	叡英	井内	躍尚	山西	尚慧	中村	叡藍
村上	叡岳	長尾	叡睦	小谷	叡茂	河田	叡彦
福島	叡慶	奥野	叡凜	足立	尚真	林	叡萌
谷	叡鶯	石黒	叡妙	宮里	叡義	長田	叡紫
竹田	叡哉	小川	叡幸	梅沢	叡幹	渡辺	叡博
八代	靖子	朝田	由治	設楽	貞樹	松下	叡恵
田中	計久	杉本	明美	吉村	波香	角野	博司

丸の内中央支部

竹本	瑞鼓	山下	心鼓	竹内	峰鼓	安藤	瑞紅
井川	瑞豊	中根	瑞光	山西	寛	隅田	恵子
江崎	卓三	柳井	登一	角井	博	平田	哲雄
酒井	慎一	谷向	郁代				

川西北支部

中村	尚儒	中村	尚瑛	永井	尚麗	伊々田	瑞豊
吉見	昊翔	岡部	瑛滉	箱田	儒海	箱田	瑛優
東野	儒明	樋口	儒裕	奥山	八十夫	熊井	瑛潤
箱田	慎也	森本	陽太	中田	徹		

川西豊友支部

政安	恵豊	吉田	泉豊	門脇	清豊	近野	豊山
瀬下	武恵	田邊	刀恵	上野	釣恵	福満	天恵
橋本	昇	宮部	茉由	浅沼	浩	東野	昭
木戸内	彌生						

川西大和支部

岡島	彩鼓	上阪	彩彪	守田	晴春	堀	彩剱
北岸	彩駿	平野	彩杏	福田	彩穂	坂根	彩暁
斎藤	彩牧	幸	彩豊	山内	彩春	中西	民夫
河田	剛	堀	愛果	笠井	みどり	中道	保信
内林	由美子	小川	紀代子	荒木	忠義	森田	宣雄
北村	弘義						

男山とくら支部

坂本	兗綜	元岡	兗芎	崑	照美	広田	美千江
森	光子						

胄山支部

今井	彩黎	本郷	恵子	今井	黎響	今井	豊治
尾崎	ゆかり	坂部	美智子	岡部	祐希	亀井	敦子
佐野	節子	今井	廣子	内藤	嫩	蓮池	治美
辻	優	後藤	静雄				

雋詠照月支部

末延	照扇	川久保	安伸	川田	紅月	西村	恵月
末延	光成	岡村	絹子	松村	むつみ	清藤	禮次郎
吉岡	逸子	門田	みつこ	上田	典仁	谷村	照子
小松	史弥	橋口	稔子	橋口	史貴	橋口	浩空
橋口	真次	藤原	翠月	久保	寛太	末延	舞葵
末延	紗葵	末延	亜葵	末延	洸龍	末延	愛理

創始会主 三浦華洲先生の経歴

- 明治三十三年（一九〇二） 七月三十一日 初代三浦徳兵衛の長男として誕生
- 大正十二年（一九二三） 三月 大阪薬学専門学校（現大阪大学薬学部）卒業
薬剤師・薬学者の資格取得
- 大正十四 年（一九二五） 稼業の薬品業継承
- 昭和九 年（一九三四） 八月関西吟詩同好会入会にするが、太平洋戦争で会社が
消失、奈良へ疎開。
- 昭和十四 年（一九三九） 総本部理事就任
- 昭和二十二年（一九四七） 戦後帰阪し、宮崎東明先生・八木哲洲・伊豆丸鷺洲先生
らと共に関西吟詩復興に勤める。
- 宮崎東明先生・宮崎溪蘭先生に代わって全国吟界を東
奔西走、日本詩吟総連盟・（財）日本吟剣詩舞振興・
愛国詩吟総連盟・大阪府詩吟連盟の重責を歴任
- 昭和三十八年（一九六四） コクヨ支部・豊中支部に次いで四條畷支部設立
- 昭和四十 年（一九六五） 関西吟詩同好会副会長就任
- 昭和四十一年（一九六六） 野崎支部設立
- 昭和四十二年（一九六七） 華洲会吟詠大会開催（於・大阪銀行四條畷支店）
- 昭和四十四年（一九六九） 第一回訪米団副団長として訪米
東亜バブル支部設立
- 昭和四十四年（一九六九） 十月十二日 宮崎東明先生ご逝去、葬儀委員長を務める
- 昭和四十五年（一九七〇） 古希祝賀会開催
- 昭和四十六年（一九七一） 総本部総師範拜命
- 昭和四十八年（一九七三） 四月 華洲会総本部より公認会の認定を授与される
- 昭和四十八年（一九七三） 五月華洲会創立五周年記念大会開催（於・池田市民会館）
- 昭和四十九年（一九七四） 七月 第二回訪米使節団長として訪米
- 昭和五十二年（一九七七） 七月 喜寿祝賀会開催（於・大東市民会館）
- 昭和五十三年（一九七八） 全日本学士会功勞によりアカデミア賞受賞
（財）日本吟剣詩舞振興会より受賞
- 昭和五十四年（一九七九） 二月 鷺声吟詠第一回交歓吟詠大会開催（於・旭産業館）
- 昭和五十四年（一九七九） 七月 中国訪中団 団長として訪中
- 昭和五十八年（一九八三） 十二月 三浦華洲書道個展（於・大東市民会館）
- 昭和五十九年（一九八四） 二月 春洲会 第一回交歓会（於・大東市民会館）

昭和六十年（一九八五）十月 吟道五十年祝賀会開催（於・東洋ホテル）
総本部元老宗範第一号

昭和六十三年（一九八八）二月十二日 逝去 享年八十八歳
平成元年（一九八八）五月 遺稿 「三浦華洲詩抄」発刊

「その他主な経歴」

公益財団法人日本吟剣詩舞振興会相談役・日本吟詠総連盟相談役

大阪府詩吟連盟顧問・愛国詩吟総連盟副理事長・顧問

財団法人大阪府吟剣詩舞道総連盟相談役

華洲会六十年のあゆみ

昭和三十五年（一九六〇） コクヨ支部設立

昭和三十八年（一九六三） 豊中支部設立

昭和三十九年（一九六四） 四條畷支部設立

昭和四十一年（一九六六） 野崎支部設立

昭和四十二年（一九六七） 一月 野崎支部結成・四條畷支部3周年・豊中支部3周年・コクヨ支部7周年・新年祝賀同記念吟詩

大会（於・大阪銀行四條畷支店）

関西吟詩同好会華洲会創立

初代会長に宮崎華驪就任

東亜バルブ支部設立

会主 三浦華洲先生古希祝賀会

勢多支部設立

千里園支部設立

昭和四十八年（一九七三） 四月 総本部16番目の会として認可

華洲会5周年記念大会開催

十月 （社団法人・関西吟詩文化協会として発足）

十一月 楠の里支部設立

寺川支部設立

昭和四十九年（一九七四） 一月 津の辺支部設立

会主・三浦華洲先生 喜寿祝賀会

昭和五十二年（一九七七） 七月 京阪樟葉支部設立

昭和五十三年（一九七八） 六月 大阪府詩吟連盟一部吟士権獲得（山口華雫）

昭和五十四年（一九七九）二月 第一回鷺声吟詠会交歓吟詠大会（於・旭産業館）
八月 四条楠公支部設立

昭和五十五年（一九八〇）一月 京阪樟葉支部3周年記念祝賀吟詠大会
（於・北大阪商工会議所）

昭和五十六年（一九八一）一月 第二代会長に佐々木華豊就任
野崎支部結成15周年記念吟詠大会
（於・大東市民会館）

昭和五十六年（一九八一）十二月 会主・三浦華洲書道個展

昭和五十七年（一九八二）四月 学園支部設立

昭和五十八年（一九八三）二月 野崎観音支部設立

九月 川田華将吟道15年
滋賀地区創立10周年記念吟詠大会

十二月 関西吟詩指導者級吟士権獲得（山口華雋）

十二月 枚方燐吟支部設立

昭和五十九年（一九八四）一月 福知山支部設立

一月 第一回春洲会交歓吟詠大会（於・大東市民会館）

七月 津田支部設立

九月 枚方燐吟支部設立1周年記念吟詠大会

十一月 機関紙『華』創刊

昭和六十年（一九八五）六月 三浦華洲先生吟道50年祝賀会（於・東洋ホテル）

婦人部結成5周年記念大会（於・石清水八幡）

十月 楠水支部設立

十一月 指月支部設立

昭和六十二年（一九八七）一月 鳳吟大江支部設立

昭和六十三年（一九八八）二月十二日 会主三浦華洲逝去 享年88歳
（空心町・明福寺墓所）

三月二十六日 故三浦華洲先生会葬（於・箕面市・正法寺）

七月 鳳吟大江支部結成吟詠大会（於・大津玉姫殿）

九月 枚方燐吟第二支部設立

十一月 （財）日本吟剣詩舞振興会少壮吟士誕生（山口華雋）

平成 元年（一九八九）五月 華洲会創立20周年並びに故三浦華洲先生を偲ぶ会
（於・大東市総合文化センター）

五月 遺稿「三浦華洲詩抄」発刊

七月 大阪府詩吟連盟第二部吟士権獲得（山口華雋）

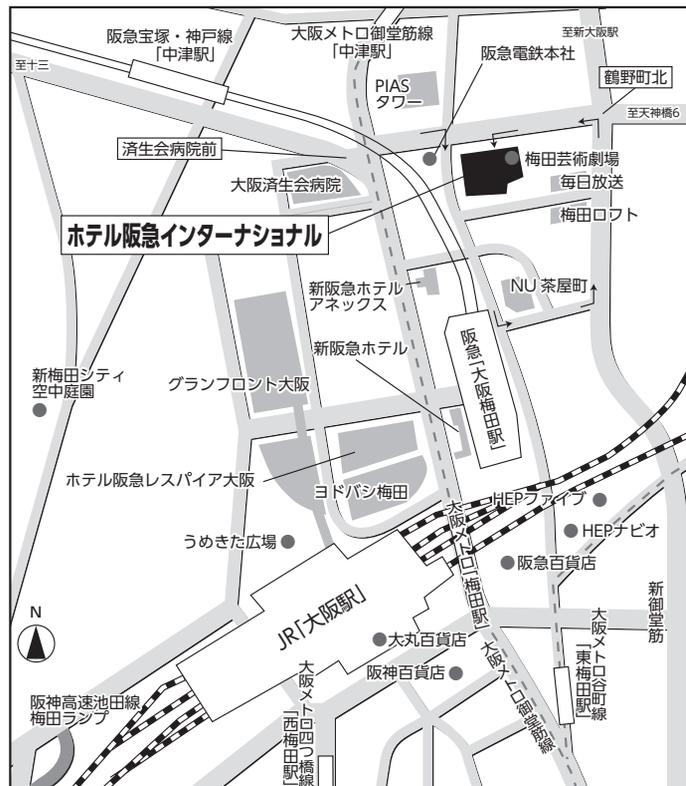
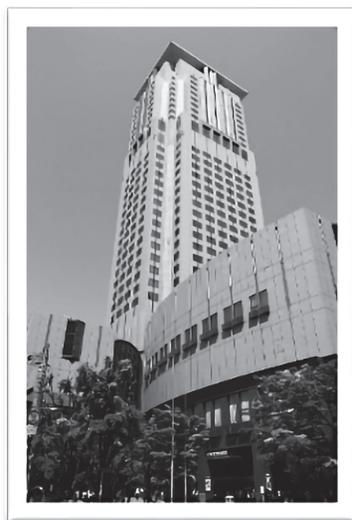
七月 大阪府詩吟連盟第二部吟士権獲得（山口華雋）

- 平成二年(一九九〇) 一月 燐吟三支部 枚方5周年・第二3周年・京阪創立結成記念大会
- 平成四年(一九九二) 一月 清和台支部設立
十一月 川田華将吟道25年
滋賀地区創立20周年記念吟詠大会
- 平成五年(一九九三) 三月 燐吟三支部 枚方7周年・第25周年・京阪3周年記念大会
四月 名誉会長・宮崎華駟翁米寿祝賀会
津田支部10周年吟剣詩舞記念大会
五月 多田東支部設立
- 平成七年(一九九五) 一月 初吟会(於・四條畷神社)以降毎年実施
- 平成八年(一九九六) 三月 華洲会創立30周年記念大会(於・都ホテル大阪)
三月 住道支部設立
四月 丸の内中央支部設立
六月 第一回華洲会・鷺声吟詠会・春洲会三会派交歓吟詠大会
八月 教養部を新設
- 平成九年(一九九七) 十月 佐々木華豊喜寿・清和台支部結成5周年吟詠大会
十月 燐吟3支部 10周年記念吟詠大会
十月 指月支部創立10周年記念大会
五月 多田東支部創立3周年記念吟詠大会
- 平成十二年(二〇〇〇) 八月 京阪樟葉支部創立20周年
並びに 濱田華兎吟道30周年記念吟詠大会
- 平成十三年(二〇〇一) 九月 破戸壮尚吟道25周年・多田東支部創立7周年祝賀会
九月 日本詩吟総連盟指導者級吟士権獲得(奥山紅雫)
十月 枚方燐吟支部15周年・燐吟第二支部13周年・京阪燐吟支部10周年祝賀吟詠大会
- 平成十五年(二〇〇三) 一月 燐吟三支部統合名称を「燐吟祭支部」に変更
中谷将鳳 関吟滋賀県連合会 理事長就任
九月 川西北支部設立
- 平成十六年(二〇〇四) 二月 寺川支部30周年・福知山支部20周年・山口華雫吟道35周年大会(於・高槻市民会館)

- 平成十七年(二〇〇五)十一月 故三浦華洲先生十七回忌並びに華洲会創立40周年記念大会開催(於・ホテルニューオオタニ大阪)
- 平成十八年(二〇〇六)十一月 華洲会第三代会長 濱田華充 就任
- 平成二十一年(二〇〇九)五月 川西豊友支部設立
- 平成二十二年(二〇一〇)十二月 関西吟詩指導者級吟士権獲得(奥山紅雫)
- 平成二十二年(二〇一〇)十一月 華洲会45周年記念大会開催(於・太閤園)
- 平成二十三年(二〇一一)一月 燁吟25周年記念吟詠大会(於・ホテル京阪)
- 平成二十五年(二〇一三)八月 日本吟剣詩舞振興会少壮吟士誕生(奥山紅雫)
- 平成二十五年(二〇一三)五月 総本部十二代会長就任 山口華雫
- 平成二十六年(二〇一四)一月 深町華燁吟道50周年祝賀吟詠会(於・ホテル青龍)
- 平成二十七年(二〇一五)二月 川西大和支部設立
- 平成二十七年(二〇一六)十一月 華洲会50周年記念大会開催(於・太閤園)
- 平成二十九年(二〇一七)五月 華洲会第四代会長就任(山口華雫)
- 平成三十年(二〇一八)五月 ソレイユ支部設立
- 平成三十一年(二〇一九)九月 胃山支部設立
- 令和元年(二〇一九)五月 男山さくら支部設立
- 令和元年(二〇一九)七月 大阪府吟詩連盟第二部吟士権獲得(今井彩黎)
- 令和元年(二〇一九)十二月 関西吟詩文化協会指導者級吟士権獲得(今井彩黎)
- 令和三年(二〇二一)一月 大阪府吟剣詩舞道総連盟理事長就任(山口華雫)
- 八月 華洲会ホームページ公開
- 十月 (公財)日本吟剣詩舞振興会
吟剣詩舞大賞(功労賞)受賞(山口華雫)
- 令和六年(二〇二四)四月 俳詠照月支部設立
- 令和六年(二〇二四)十二月 華洲会60周年記念大会
- (於・ホテル阪急インターナショナル)



案内図



交通アクセス

- 阪急大阪梅田駅茶屋町口から徒歩約3分
- 大阪メトロ御堂筋線中津駅4番出口から徒歩約3分
- JR大阪駅御堂筋口から徒歩約10分

